

三級 建築大工技能士に建築環境科3年の6名(男子5名、女子1名)が合格!(認定証届く)

○岩本さん、永住、久保、黒木祐、白ケ澤、中村君の6名は、2年次の10月に学科試験を、2月に実技試験を受験し、両方に合格したことにより、三級建築大工技能士に認定されました。実技試験では、木造建築の構造(梁・柱・屋根)の一部分を、杉材を使用して、所要時間3時間以内で組み立てるもので、未完成は不合格だそうです。本校の6名は、2時間30分以内で完成させました。学科対策は2か月間、実技対策は3か月間の課外に取り組んでの快挙です。「ジュニアマイスター顕彰制度」(全工協会主催)において、12点が与えられる高度検定です。今後、ジュニアマイスターシルバー(各種の国家資格や検定を取得した場合に、定められた点数が与えられ、その得点の合計が30点以上の場合)、ゴールド(45点以上の場合)の獲得を目指して、さらに頑張ってもらいたいと思います。

ボランティア同好会の4名が「ありの実園運動会」のお手伝いをしました!

○4月29日(木)に、ありの実園であった運動会で、ボランティアとして、本校の河野、北原一君(建環3年)、竹之下君(機械3年)、田畑君(建環1年)の4名が活動しました。4人ともいい経験をしたようです。今後、奉仕作業や施設訪問、地域の行事など、様々なボランティア活動に多くの生徒が参加する学校になり、もっともっと地域に感謝し貢献していければと思います。



事前の打合せ会がありました。
医療系専門学校生約20名も

＜河野キャプテンの感想文より＞
初めてのボランティア活動で、不安がありましたが、とても楽しく活動できました。今回、ありの実園の方々のおかげで、自分達も少しではありますが、成長できたと思います。みんなが笑顔で競技している姿に感動し、すばらしいと感じました。

玉ころがし競技も楽しく



本校生徒も参加しました。

自分自身ももっと成長し、人のためになれるような立派な人間になりたいです!!

○11日(火)10:00~12:30、県教育研修センターで県立学校長会がありました。

「平成22年度教育施策及び本県教育推進上の課題等について」という内容で、学校政策課、特別支援教育室、スポーツ振興課、教職員課、総務課、全国高等学校総合文化祭推進室などからの説明がありました。具体的な施策については、先日配付した「平成22年度 のびよ!宮崎の子どもたち~教育県「みやざき」の創造~」に掲載されていますので、今一度確認し、活用していきたいものです。挨拶や説明の内容で、特に伝えておきたいことをあげておきます。

- ・子どもたちの「輝く瞳、はじける笑顔」を最高の喜びとして、教育に携わってほしい。(教育長)
- ・子や親の目線の仕事をする。子どもの能力を信じて、待つ姿勢が大切。志を持ち、大学で、社会で伸びる子どもを育成する。人生に大きな目標を持たせ、社会に貢献する人間の育成。(飛田教育次長)
- ・先生が教育を変える。「ひるまず」強い使命感を持って、「時代の半歩先を見て、こんな仕事をしたと言えるように仕事をしてほしい。(飛田教育次長)
- ・教職員の服務規律のさらなる遵守の徹底を図ってほしい。「信頼される教職員を目指して」の活用
- ・全国高等学校総合文化祭宮崎大会まで、あと75日!(17日現在)もっと、学校で、地域でPRし、県民全体で成功へと導いていく大会にしていってほしい。文化部の発展・向上に役立てる。
- ・授業改善にもっと力を入れて取り組んでほしい。改善より革命であってほしい。(児玉学校政策課長)

○13日(木)午後、生目の杜「遊古館」であった「人権教育推進懇話会」に出席し、小中高の校長先生方と人権教育についての研修の在り方などについて話し合いました。その際、話題になったことをあげておきます。本校でも、中武先生を中心に、人権教育にさらに力を入れていきたいと思っています。

- ・「教師の言動が子どもたちに大きな影響を与える」ことを常に意識して指導にあたる。
- ・体罰0の学校づくり
- ・インターネットによるいじめなど人権侵害の防止
- ・発達障がい関係
- ・学校と家庭が連携して人権教育を行なっていくための保護者向けの研修の実施について

祝！囲碁部女子団体優勝（全国大会出場権を得る）・・・11日（火）

○平成22年度（第34回）全国高等学校総合文化祭囲碁部門
県予選 兼 第34回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手
権大会県予選で、囲碁部の女子が、宮崎北高校に勝って、見事、
団体優勝を果たしました。その結果、7月26日から東京で開
催される全国大会の出場権を獲得しました。みんな、今、伸び
盛りのようです。今後が大いに楽しみです。（男子も頑張れ）

小林秀峰高校 2 - 1 宮崎北高校

※経営情報科2年の黒木琴、室屋、荒川さんの3人
永野事務長・原先生の指導の下、メキメキ力を付けています。



放課後、化学室での練習風景

○**教科指導力向上支援教員**が、今年度も県内17高校から54人が任命されました。県立高校教諭の指導力や高校生の学力向上のために、公開授業などを行なうことになっています。9月から12月に教諭対象の公開授業を2回実施するそうです。また、**スーパーティーチャー**中村恵（商）、年見（英）、溝上（物）先生の授業公開も先日お知らせしました。ぜひ、積極的に参加してください。

※「指導力向上支援教員任命」と「チェーンメール 中学2年生61%受信」の新聞記事（先週の宮崎日日新聞より）を掲載しました。